

マイケル・ルビン教授講演会 (3回シリーズ)

日時: ○ 第1回 8月27日(水) 18:30~19:30

<第2回東京大学医学教育セミナー>

A New Medical Curriculum for the 21st Century

「米国エモリー大学の新しい卒前医学教育カリキュラム

~21世紀の医学教育カリキュラムの方向性~」

本講演会においては、米国の一流校であるエモリー大学における、近年の医学教育カリキュラムの変革について紹介いたします。

同大学のカリキュラムの大きな変革の一つとして、臨床前のカリキュラムが縮小され、患者と接する時間がより担保されたことがあげられます。さらに以前のカリキュラムにあった、細胞→組織→臓器→個体というアプローチに代わって、より大きな視点から入る、地域→個体→臓器→組織→細胞というアプローチが取り入れられました。また Z 型カリキュラムが取り入れられ、低学年の頃から臨床医学や公衆衛生学に接し、最終学年で基礎医学を臨床医学と統合して学ぶようになったことも特徴です。常に変化し続ける米国の医学教育。その近年の状況について、当日参加者の皆様と活発な討論ができることを楽しみにしております。

○ 第2回 9月17日(水)18:00~19:30 詳細未定

○ 第3回 10月半ば以降の予定

会場: 3回の講演とも東京大学(本郷)医学図書館3階 333会議室

■ 講師の紹介

マイケル・F・ルビン(Michael F. Lubin, MD)

米国 エモリー大学医学部教授(総合内科学、老年病学)

東京大学医学教育国際協力研究センター 平成20年度外国人客員教授

(招聘期間: 平成20年7月7日~11月6日)

略 歴

1969年	ジョンズ・ホプキンス大学	学士号(化学専攻)
1973年	ジョンズ・ホプキンス大学医学部	卒業
1973-1976年	エモリー大学医学部附属病院	内科レジデント
1976-1982年	エモリー大学医学部	内科学 Assistant Professor
1982-2001年	同	Associate Professor
2001-2002年	同	老年病学 Professor
2002年-現在	同	総合内科学 Professor

Director, the Preoperative Evaluation Clinic at Grady Memorial Hospital